

昼生小だより

令和4年9月28日 No.15

第1回みえスタディ・チェックの結果より

前回お知らせしました6年生対象の「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果にひき続き、4年生と5年生を対象に実施された「令和4年度 第1回 みえスタディ・チェック」の結果についてお知らせします。「みえスタディ・チェック」は、学習指導要領を踏まえ、知識・技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力の定着状況を確認するためのテストです。本年度は、一部の記述回答箇所を除き1人1台端末からのオンライン解答によって行われました。



教科に関する調査の結果より

教科の平均正答率(%)

		国語	算数	理科
5年	本校	52.6	61.8	66.0
	三重県	52.4	56.0	54.2
4年	本校	62.5	55.6	
	三重県	59.9	53.9	

5年生は国語・算数・理科の3教科、4年生は国語・算数の2教科で行われました。

各教科の平均正答率は、どちらの学年ともすべての教科で、三重県の平均を上回っています。このことは、6年生での結果と同様に、昼生小学校がこれまで取り組んできた「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善や、少人数ならではのきめ細かな学習指導などの成果が現われていると考えられます。また、問題への無回答率もほぼ0%と県にくらべて低く、最後まであきらめずに問題に取り組もうとする子どもたちの姿勢が本テストでもうかがえます。

各教科の領域別の平均正答率(%)

国語		知識技能	話す聞く	書く	読む
5年	本校	54.3	27.8	44.4	66.7
	三重県	56.0	41.7	40.0	45.4
4年	本校	72.9	37.5	12.5	56.3
	三重県	68.2	44.3	18.7	50.4

では、各教科の結果を領域別に見てみましょう。

国語では、4・5年生ともに、「読む」領域で県平均を上回っています。文章を読んで、段落相互の関係に着目してとらえたり、登場人物の気持ちの変化や場面の移り変わりをとらえたりすることができています。

一方、4・5年生ともに、「

話す・聞く」領域で県平均を下回りました。話し合いの様子が紹介された文章を読んで、発言の仕方の工夫や話し合いの内容を正確にとらえたり、目的に応じて内容を整理したり、相手や目的に応じて筋道を立てて説明したりすることに課題が見られます。

また、5年生の「知識・技能」領域では、漢字の読み書きについての設問が県平均よりも低い結果でした。「まったく」を漢字で書いたときの送り仮名や、「機会」「関心」の漢字の間違いが目立ちました。4年生の「知識・技能」領域でも、文章中の「そこ」が指し示す内容を選ぶ問題や、「遠足」の漢字の間違いが多かったです。ケアレスミスもあるかもしれませんが、基礎基本の定着の徹底が求められます。

算 数		数と計算	図 形	データと活用	測 定
5年	本 校	65.1	55.6	63.0	61.1
	三重県	61.4	51.6	49.9	54.8
4年	本 校	62.5	25.0	50.0	62.5
	三重県	61.4	28.9	47.7	54.4

算数では、4年生の「図形」領域を除いて県平均を上回る結果でした。

特に、昨年の課題であった「データと活用」領域で、グラフから必要な情報を読み取ったり、数字とグラフを関連づけて

考えたりする設問では改善が見られました。しかし、4年生で「グラフの一目盛りの単位を読み取るミスが多い」といったケアレスミスや、5年生で「表から読み取った内容を言葉で説明することが苦手」な傾向が見られるなど、まだまだ十分とは言えません。

また、4年生の「図形」領域では、「二等辺三角形を描くための頂点を2つ選ぶ」問題で、答えを1つしか選んでいないなど、問題文をしっかりと読んだり見直しをしたりすれば避けられたはずのミスが目立ちました。

さらに、4・5年生ともに「数と計算」領域の設問では県平均を上回っているものの、個々の問題を見ると、4年生では「 32×48 」「 $12 \div 3$ の式で答えを求められる問題を選ぶ」問題で、5年生では「58674を、四捨五入して、千の位までのがい数で表したものを選ぶ」問題で、県の正答率を下回っていました。正確に計算することや、定義や用語の理解、問題から場面をイメージして立式する力にやや課題が残っていると考えられます。

理 科		物質(粒子)	エネルギー	生 命	地 球
5年	本 校	73.3	47.2	77.8	66.7
	三重県	57.1	40.8	64.0	56.0

理科は5年生のみの実施でしたが、全ての領域で県平均正答率を上回りました。設問ごとに見ても、ほぼ全ての問題

で県平均よりも高い結果でした。理科の基礎的な知識・技能や科学的な見方・考え方が身につけてきていると見られます。特に、観察や実験で取り組んだ内容について、よく理解できていました。

県平均よりも低かった問題は、「エネルギー」領域での「かん電池のつなぎ方とモーターの回り方」について問う設問でした。2個のかん電池をつないだ図の中から「モーターが回らないつなぎ方を選ぶ」問題と、「選んだつなぎ方の図で、1個のかん電池の向きを変えたときのモーターの回る速さと、かん電池1個をモーターにつないだときの回る速さを比べる」問題の2問です。4年生で学習した乾電池のつなぎ方と電量の強さ・はたらきの大きさについては復習が必要です。

学習や生活等に関する質問の結果よい

「みえスタディ・チェック」でも、子どもたちの生活や学習の様子などをアンケート形式で問う調査が行われました。以下に4・5年生全体の結果を示し、特徴をまとめてみました。

※ 数値は、各質問に「当てはまる・している」「どちらかといえば、当てはまる・している」と回答した割合の合計(%)です。

【基本的生活習慣等に関すること】

質 問 項 目	本 校	三 重 県
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	76.5	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	100	88.0
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（スマホ等を使ったゲームも含む）をしますか *3時間以上の回答	29.4	31.3

毎日、同じくらいの時刻に起きている児童の割合が、100%でした。寝る時刻が一定でない児童もいますが、全体として生活リズムは整っているようです。また、平日にテレビゲームを1日3時間以上していると回答した児童の割合が約30%と、県平均並みでした。これからも望ましい基本的生活習慣を維持して欲しいと思います。

【自己有用感、達成感、挑戦心、地域や社会への関心等に関すること】

質問項目	本校	三重県
自分には、よいところがあると思いますか	82.4	80.0
将来の夢や目標を持っていますか	100	87.0
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	88.2	81.2
学校に行くのは楽しいと思いますか	100	85.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか	82.4	64.1
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	94.1	66.7

将来の夢や目標を持っている児童の割合が100%、失敗を恐れず挑戦する児童の割合も約90%と、県平均を上回っています。夢や目標に向かって、前向きに頑張ろうという気持ちがうかがえます。また、学校に行くことを楽しいと感じている児童が100%なのも嬉しく思います。6年生と同様、保護者・地域の皆様のご協力により、地域行事へ参加している児童の割合は、県平均と比べて上回っていますし、地域や社会をよくするために自分にできることを考える児童の割合も、県平均と比べて大きく上回っています。これからも自分に自信を持って、いろいろなことに取り組んで欲しいものです。

【学習習慣、学習環境等に関すること】

質問項目	本校	三重県
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	94.1	72.6
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *1時間以上の回答	58.8	48.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *1時間以上の回答	58.8	48.9
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。 *30分以上の回答	64.7	41.6

家で計画的に予習・復習などの自主学習をすすめている児童がほとんどで、とても良いと思います。ただ、1日の授業以外での学習時間が、平日も休日も1時間未満の児童が約40%いますので、もっと学習時間を増やせるように努力しましょう。自分の苦手を克服したり、興味のあることを追求したり、これまでの学習を整理したりする時間をつくって下さい。また、授業以外での読書を1日30分以上している児童の割合も、6年生と同様に県平均にくらべて高いです。今回のアンケートでは、「読書が好き」という質問項目はありませんでしたが、4・5年生も良い本に出合って、読書の面白さを実感して欲しいと思います。

昼生小学校では、今回の結果から見えてきた課題をもとに、今後の授業改善に努めていきます。

紙面訂正のお知らせ

昼生小だより No. 12 と No. 13 の紙面に、以下の通り訂正がありましたので、お詫びして訂正いたします。

【No. 12 裏面】行事予定の曜日の間違い

11月17日(水) → 木

11月22日(水) → 火

12月 5日(木) → 月

【No. 13 裏面】夏休み作品展の写真のキャプションの間違い

5年 壁新聞(SNS・スマホ等) → 6年 壁新聞(SNS・スマホ等)

6年 壁新聞(稲作体験) → 5年 壁新聞(稲作体験)

昼生小だより No. 14 配付後に、三重県教育委員会が令和4年度全国学力・学習状況調査結果をふまえて作成した「学力向上パンフレット『学校・家庭・地域が一体となった取組に向けて』」の案内が、学校に届きました。県のホームページ（「みえの学力向上県民運動」）に掲載されていますので、下のURLまたはQRコードからアクセスしていただき、ご一読をよろしくお願いします。

http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/gakucho/r4/02_r4_Pamphlet.pdf

